

## 2008年3月の経済情勢

### 1. 概要

(1) フェルナンデス大統領は議会演説を行い、キルチネル前政権以降の経済実績を強調し、経常黒字と財政黒字を維持する政策の継続等を主張するとともに、亜建国200周年に向けて経済、インフラ、教育・科学技術、医療・社会開発の4分野を重視する考えを示した。

新たなガス田から採掘されるガスをより自由価格に近い価格で販売できる制度の導入等のエネルギー不足対応策が発表された。

(2) 穀物に係る輸出税率を国際価格に応じて変動させる新たな輸出税制度の創設が発表された。農牧団体はこの制度改正に抗議し、農畜産品の出荷を停止するとともに、各地で道路封鎖やデモ行進を行った。また、フェルナンデス大統領が農牧団体によるストライキを非難する演説を行ったのに対し、市民等による鍋叩きデモも行われた。このストライキの影響で、牛肉はほぼ全面的な供給不足に陥り、乳製品、食用油、野菜、果物等の食品についても供給不足及び価格の高騰が生じた。

(3) 様々な業界で賃上げ合意が成立した。

ラ・ナシオン銀行は、新たな中小企業向け貸出制度の創設を発表した。

亜・ベネズエラ首脳会合が行われ、亜はベネズエラに食糧を供給し石油の供給を受ける等の協定が締結された。

(2) 2月の消費、生産ともに引き続き好調だった。市場見通しでは08年の成長率は7.4%、09年は6.0%と予測されている。

政府発表では、3月の消費者物価の伸びは1.1%に留まったが、引き続き実態をかなり下回っていると見られている。

(3) 米国金融情勢の悪化等により亜金融指標もやや悪化したが、外貨準備高は引き続き増加した。

2月の一次財政収支は、歳入の増加等により、前年に比べ黒字幅が大幅に増加した。

(4) 2月の貿易は、輸出が前年比45%増、輸入が同51%増となり、貿易黒字は同24%増加した。

### 2. 経済の主な動き

#### (1) 経済全般

#### (イ) 農牧関係

11日、政府は、穀物に係る輸出税率を国際価格に応じて変動させる新たな輸出税制度の創設を発表した。各産品の平均税率は、2月の平均価格の場合、大豆が35%から44.1%に、ヒマワリが32%から39.1%に上昇する一方、小麦は28%から27.1%に、トウモロコシは25%から24.2%に若干低下する。ルストー経済相は、今回の措置の目的を、大豆へのモノ

カルチャー化を抑制すること、小麦やトウモロコシの生産に対するインセンティブを高めること、国際価格から国内価格を遮断することなどと説明した。一方、農牧業界は、今回の措置は歳入の増加が目的であり、農牧業界への新たな攻撃であると批判した。政府は、今回の措置による増収は、対GDP比0.4%に相当する年間12億ドルと推計しているが、農牧業界は24億ドルに達すると推計している。

12日、主要農牧4団体は、穀物に係る輸出税制度の改正に抗議し、同日から2日間ストライキを実施することを発表した。14日には19日までのストライキの延長を、19日には25日までの延長を、25日には無期限の延長を決定した。この間、農畜産物の出荷が停止されるとともに、各地で道路封鎖やデモ行進が行われた。

25日、フェルナンデス大統領は、農牧団体によるストライキを富裕者によるピケであると非難した。これに対し、各地で抗議デモが起こり、大統領府前の五月広場をはじめとする各地で市民等による鍋叩きデモも行われた。

27日、フェルナンデス大統領は、政府支持者による集会において演説し、基礎食料品の生産及び所得再分配の観点から輸出税制度の改正を擁護するとともに、政府は中小農牧生産者とは対立するものではないこと、農牧団体と対話する用意があることを述べた。

28日、農牧団体はストライキの停止を決定し、政府と農牧団体による協議が行われた。政府は、中小農牧生産者への補填等を提案しつつも、輸出税改正の方針は維持し、農牧団体との協議は物別れに終わった。

29日、農牧団体は、政府提案の改善と、少なくとも90日間の輸出税改正の適用停止を求めて、4月2日まで再度ストライキを行うことを発表した。

31日、政府は、中小農牧生産者への支援策を発表した。ルストー経済相は、小規模生産者に対する輸出税増税分の還付、輸送費の補助、小麦輸出の再開、酪農業者への補助、酪農業者及び養鶏業者への金融支援、農村開発・家族農業副庁の創設を発表する一方、基礎食料品の生産及び所得再分配の観点から、輸出税制度の改正を擁護した。フェルナンデス大統領は、中小農牧生産者は制度改正前を同様の収益性を確保できること、全ての農牧生産者は制度改正により損を被ることはないことを強調し、道路封鎖の解除を要求した。

31日、農牧団体は、根本的な輸出税の問題が解決されていないとして、少なくとも4月2日までのストライキ続行を発表した。他方、道路封鎖を実施している農牧業者に対し、食料を運搬するトラックの通行は認めるよう要請した。

このストライキの影響で、牛肉はほぼ全面的な供給不足に陥り、乳製品、食用油、野菜、果物等の食品についても供給不足及び価格の高騰が生じた。

(ロ) その他

1日、フェルナンデス大統領は、議会演説を行い、キルチネル前政権以降の経済実績を強調するとともに、垂建国200周年に向けて経済、インフラ、教育・科学技術、医療・社会開発の4分野を重視する考えを示した。経済については、経常黒字と財政黒字の維持、債務削減と外貨準備高の積上げの継続、公営銀行による生産セクター向け融資の実施、貧

困率を一桁台に、失業率を5%に引き下げること等を主張した。

10日、政府は、エネルギー不足に対応する以下の施策を発表した。天然ガスに係る輸出税を引き上げる。石油会社に補助金を支給し、産業向けにガスと同じ価格で液体燃料を供与するエネルギー・トータル計画を2009年まで延長する。新たなガス田から採掘されるガスをより自由価格に近い価格で販売できるガス・プラス計画を実施する。

10日、亜から撤退する意向を示していたエッソ社は、亜から撤退しないことを決定したと発表した。

12日、政府は、ペトロブラスのガソリンスタンド5カ所について、燃料の供給不足を理由に各百万ペソの罰金を科した。

12日、フェルナンデス大統領は、昨年末に発表したエネルギー効率利用計画に加えて、2011年から白熱灯の生産・輸入・販売を禁止する法律案を議会に提出することを発表した。

12日、資本財及びインフラ投資に対して所得税及び付加価値税の優遇措置を付与する投資促進法が成立した。

18日、火力発電所の稼働開始式典が行われた。2002年以降初めての新規発電所の稼働となる。発電能力は、当初は275MW、今年6月に554MW、来年3月には827MWまで増加する予定である。また、火力発電所をもう一基建設中であり、二基合わせた発電能力は、今年下半期に1100MW、来年6月には1600MWまで増加する予定である。

18日、アバド連邦歳入庁長官とエチェガライ関税局長は、両者の対立により辞任した。同日、カルロス・フェルナンデス首相府予算評価長官が連邦歳入庁長官に任命され、31日、マリア・シルビーナ・ティラバッシ関税局次長が関税局長に任命された。

燃料不足により、特に聖週間(20日～)の前には、ガソリンスタンドに行列が見られた。

## (2) 物価・賃金

4日、政府とバス労組は、1月に遡り170ペソ、3月及び7月に更に170ペソずつ、及び交通費の引上げを含む合計22%の賃上げで合意した。賃金を170ペソ引き上げる毎に、月額15百万ペソの補助金の追加が必要になると見られている。

7日、政府と食肉業界及び流通業界は、13部位の牛肉についての価格協定を締結した。しかし、生産者団体は参加しておらず、具体的な期間や価格引下げのための措置も含まれていない。

10日、ブエノスアイレス州政府と職員労組は、24%の賃上げで合意した。

14日、政府は、ビル管理人労組、パン労組、電力労組、地下鉄労組と会談し、年間合計20%程度の賃上げで合意した。

31日、ブエノスアイレス州政府と同市公務員労組は、年間合計19.5%の賃上げで合意した。

31日、銀行業界と労組は、19.5%の賃上げで合意した。

### (3) 金融・財政

5日、ラ・ナシオン銀行総裁は、貸出期間最大10年、当初5年間は金利12%、その後は変動金利、総額50億ペソの新たな中小企業向け貸出制度の創設を発表した。

12日、フェルナンデス大統領は、外貨準備高が500億ドルを超えたことを明らかにした。

### (4) 対外関係

6日、ベネズエラを訪問したフェルナンデス大統領は、チャベズ・ベネズエラ大統領と会談し、亜はベネズエラに食糧を供給し石油の供給を受けること、亜国営エネルギー会社ENARSAとベネズエラ石油公社PDVSAがオリノコ油田開発のために合併会社を設立すること等を内容とする協定が締結された。

## 3. 経済指標の動向

### (1) 経済活動全般

2007年第4四半期のGDP（INDEC発表）は、前年同期比9.1%増、前期比1.9%増となった。国内総固定投資は前年同期比17.7%増、対GDP比26.0%となった。経済活動別では、金融仲介業が前年比18.1%増、運輸・通信業が同14.4%増などと引き続き高い成長となった。

2007年通年では、前年比8.7%の増加となった。国内総固定投資は前年同期比14.4%増、対GDP比24.3%となった。経済活動別では、金融仲介業が前年比18.5%増、運輸・通信業が同13.8%増などと引き続き高い成長となった。

1月の経済活動指数（INDEC発表）は、前年同月比10.2%増、前月比0.5%増と引き続き好調だった。

3月のREM（民間エコノミストの予測の中銀による集計値）の平均では、08年の実質GDP成長率は7.4%、09年は6.0%と予測されている。

### (2) 消費

#### (イ) 小売

2月のスーパーマーケット売上高（INDEC発表）は、前年同月比26.9%増、前月比2.3%増と引き続き好調だった。ショッピングセンター売上高（INDEC発表）は、前年同月比15.2%増、前月比では3.4%減とやや減速した。スーパーマーケット売上高の価格指数の上昇率が減速して対前年比8.9%増に留まったこと、及びショッピングセンター売上高の価格指数の上昇率が前月比1.3%下落したことが疑問視されており、売上高の伸びは実態より大きく出ているのではないかと見られている。

#### (ロ) 自動車販売

自動車協会（ADEFA）が発表した3月の自動車販売台数は、前年同月比25.3%増、前月比20.8%増と、引き続き好調だった。

### (3) 工業生産・建設活動

#### (イ) 工業生産

2月の工業生産指数（INDEC発表）は、前年同月比5.9%増、前月比1.9%減となった。昨年は夏期休暇を1月に取る企業が多かったのに対し、今年は2月に取る企業が多かったことが影響していると思われる。

2月の稼働率は、前月に比べ2.2%ポイント上昇したが、前年同月に比べ1.1%ポイント低下した。石油精製は92.6%と引き続き高かった。

#### (ロ) 建設活動

2月の建設活動指数（INDEC発表）は、前年同月比9.6%増、前月比0.6%増となった。

#### (ハ) 自動車生産

自動車協会が発表した3月の自動車生産台数は、前年同月比10.5%増、前月比47.4%増と引き続き好調だった。

### (4) 物価・雇用

#### (イ) 物価

3月の消費者物価指数（INDEC発表）は、前月比1.1%の上昇となったが、引き続き実態をかなり下回っていると見られている。

3月の卸売物価指数は、前月比0.9%の上昇となった。

REMの平均では、08年の消費者物価指数の上昇率は前年比9.3%と予測されている。

#### (ロ) 雇用・賃金等

2月の給与指数（INDEC発表）は、前月比2.02%増となり、特に民間非正規部門が同4.27%増となった。

REMの平均では、08年の失業率は6.9%、09年は6.6%、08年の給与指数の上昇率は前年比20.49%、09年は同18.37%と予測されている。

### (5) 金融

#### (イ) 米国金融情勢の悪化等により、亜金融指標もやや悪化した。

株価指数であるMerval指数は、19日には2,014ポイントまで下落したが、31日には2,104ポイントまでやや回復した。カントリーリスク指数であるEMBI+は、17日に580ポイントまで上昇し、月末にかけて再び上昇して31日には581ポイントとなった。

(ロ) 為替レートは、14日には1ドル=3.1448ペソまでペソが上昇したが、その後ペソが下落して31日には1ドル=3.1653ペソとなった。コールレートは、横ばいで推移し、31日には8.06%となった。外貨準備高は、ドル売り介入により一時やや減少する局面もあったが、3月末には505億ドルまで増加した。

REMの平均では、08年の外貨準備高は580億ドル、為替レートは1ドル=3.24ペソと予測されている。

## (6) 財政

### (イ) 財政収支

経済省が発表した2月の財政収支は、歳入が前年同月比45%、一次歳出が同42%増加し、一次財政黒字は同62%増の32億ペソとなった。

REMの平均では、08年の一次財政黒字は354億ペソ、対GDP比で約3.6%と予測されている。

### (ロ) 税収

経済省が発表した3月の税収は、前年同月比26.9%増の177億ペソに留まった。予想より20億ペソ以上低く、農牧団体によるストライキが影響したと見られている。付加価値税収が同27.8%増の5,756百万ペソ、法人及び個人に係る所得税収が同20.0%増の3,049百万ペソ、輸出税収が同49.5%増の2,200百万ペソ、社会保障雇用主負担金が同29.0%増の2,230百万ペソとなった。

REMの平均では、08年の税収は、前年比35.9%増の2,715億ペソと予測されている。

## (7) 貿易

2月の貿易(INDEC発表)は、輸出が前年同月比45%増の5,189百万ドルとなり、輸入が同51%増の4,207百万ドルとなった結果、貿易黒字は同24%増の982百万ドルとなった。輸出は、国際価格の上昇等により、小麦等の穀物、大豆粕等の食品工業くず、原油・ガソリン等の燃料等の輸出が増加した。輸入は、農業・金属等への中間財、航空機・自動車部品・発電機・農機具等の資本財等が増加した。

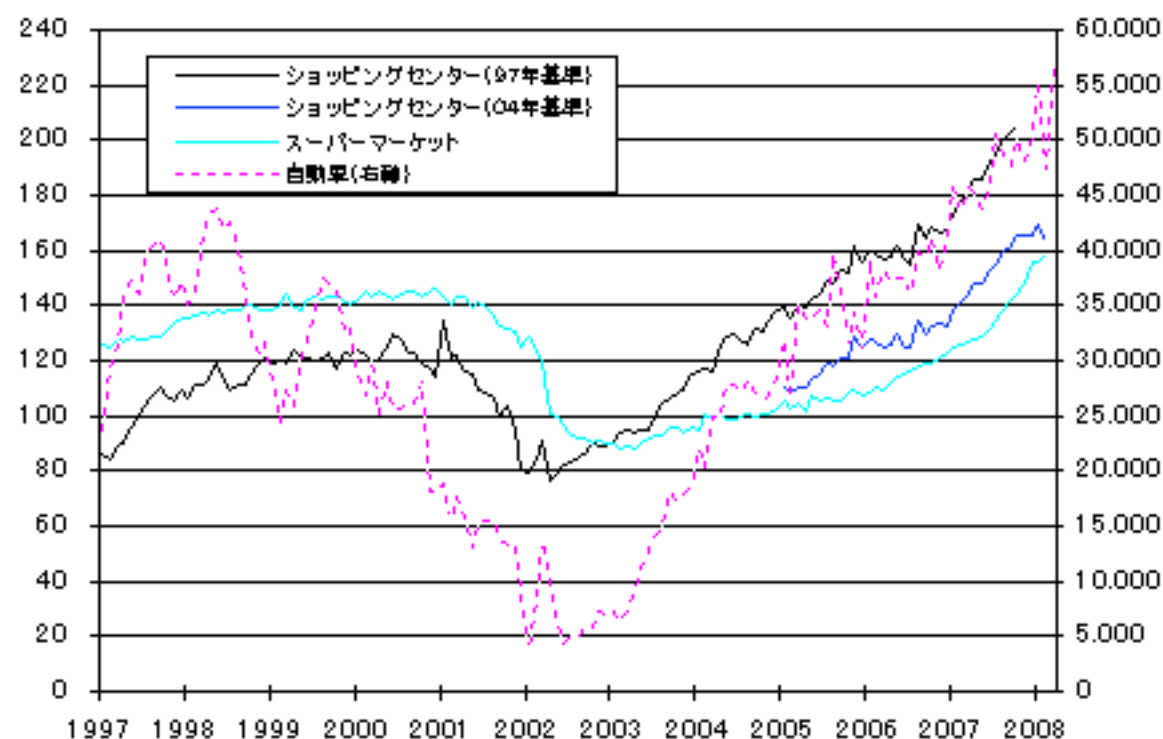
REMの平均では、08年の輸出は前年比21%増の678億ドル、輸入は27%増の569億ドルと予測されている。



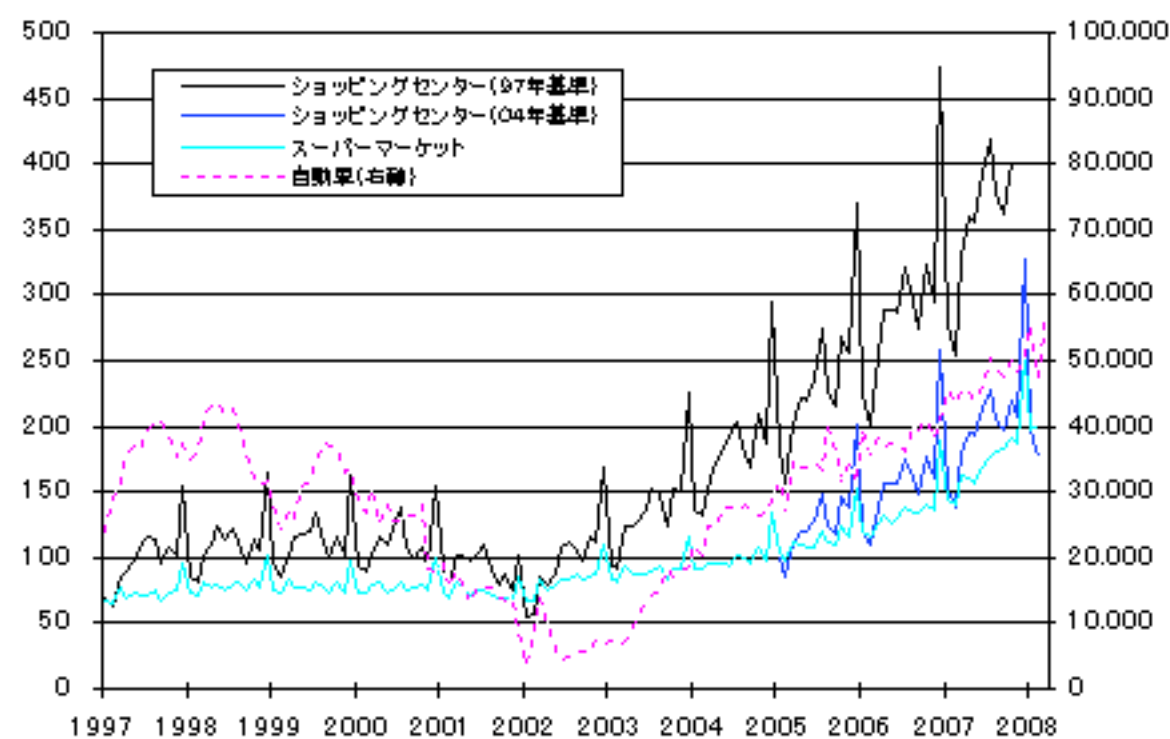
## (2) 消費

	ショッピングセンター売上高				スーパーマーケット売上高				自動車販売台数	
	名目		実質		名目		実質		前期比 %	前年比 %
	前期比 %	前年比 %	前期比 %	前年比 %	前期比 %	前年比 %	前期比 %	前年比 %		
05年		28.2				14.6				29.1
06年		24.6				17.8				14.4
07年		28.1				30.2				22.7
07年 2月	▲ 9.3	25.4	4.0	11.9	▲ 2.5	22.8	0.7	13.7	▲ 4.9	21.3
3月	30.0	29.9	1.8	16.0	15.6	28.9	1.0	16.1	5.2	21.1
4月	9.5	25.1	2.5	17.7	▲ 2.1	20.1	1.1	13.9	▲ 1.3	22.0
5月	▲ 1.1	23.3	▲ 0.1	14.7	▲ 1.8	25.3	0.5	12.6	▲ 3.0	17.0
6月	10.1	37.2	3.5	22.6	8.1	30.8	2.7	14.2	4.6	22.2
7月	6.6	30.7	0.9	24.2	4.1	28.1	1.9	15.9	10.4	40.0
8月	▲ 9.7	28.4	3.6	18.9	2.8	36.3	2.6	16.5	▲ 3.8	21.9
9月	▲ 4.3	32.2	1.0	24.4	0.7	36.6	3.3	19.7	▲ 2.1	21.0
10月	12.1	25.1	1.5	23.8	4.0	35.1	1.3	21.5	5.0	21.8
11月	▲ 6.0	28.9	0.4	24.4	▲ 1.2	37.2	2.7	22.4	▲ 3.6	12月
12月	58.0	27.1	0.2	24.4	35.0	34.9	4.9	26.8	4.4	22.2
08年 1月	▲ 40.0	29.4	2.6	24.0	▲ 22.1	36.5	▲ 0.1	24.9	9.7	20.7
2月	▲ 10.2	27.9	▲ 3.4	15.2	2.2	43.1	2.3	26.9	▲ 14.1	9.1
3月									20.8	25.3

販売指数(実質)と販売台数の推移



販売指数(名目)と販売台数の推移

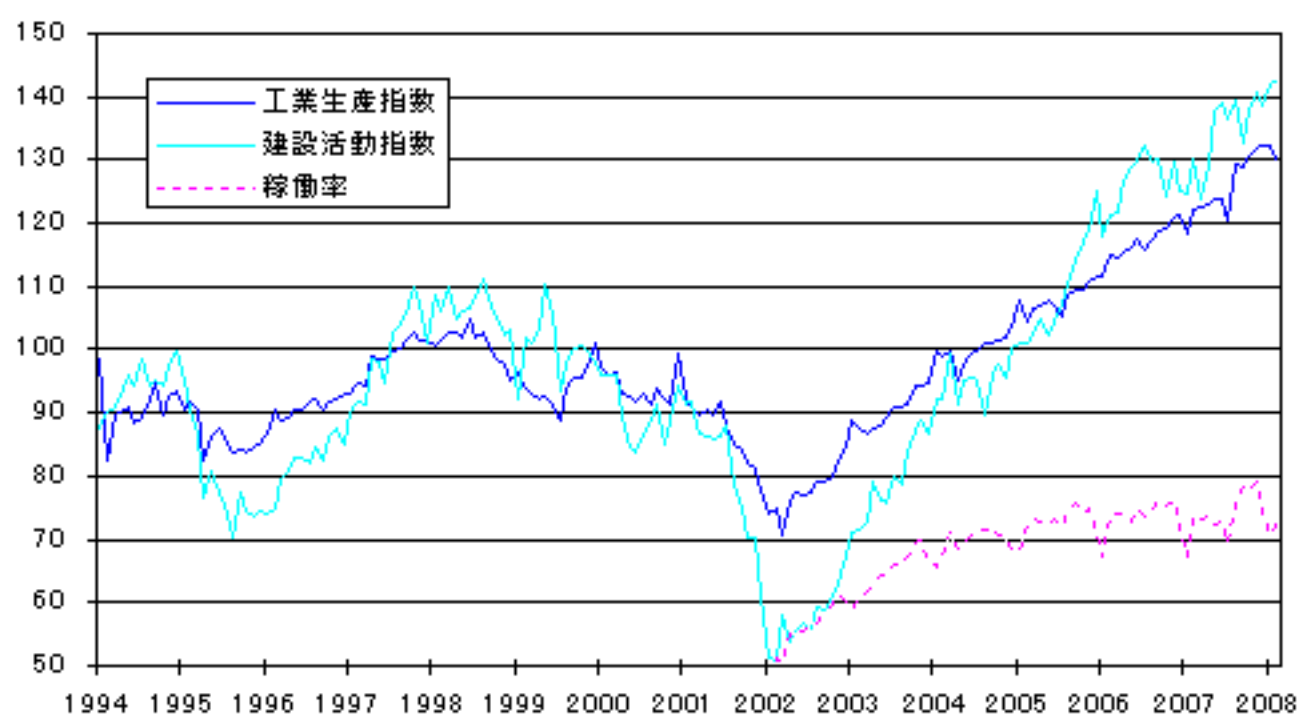




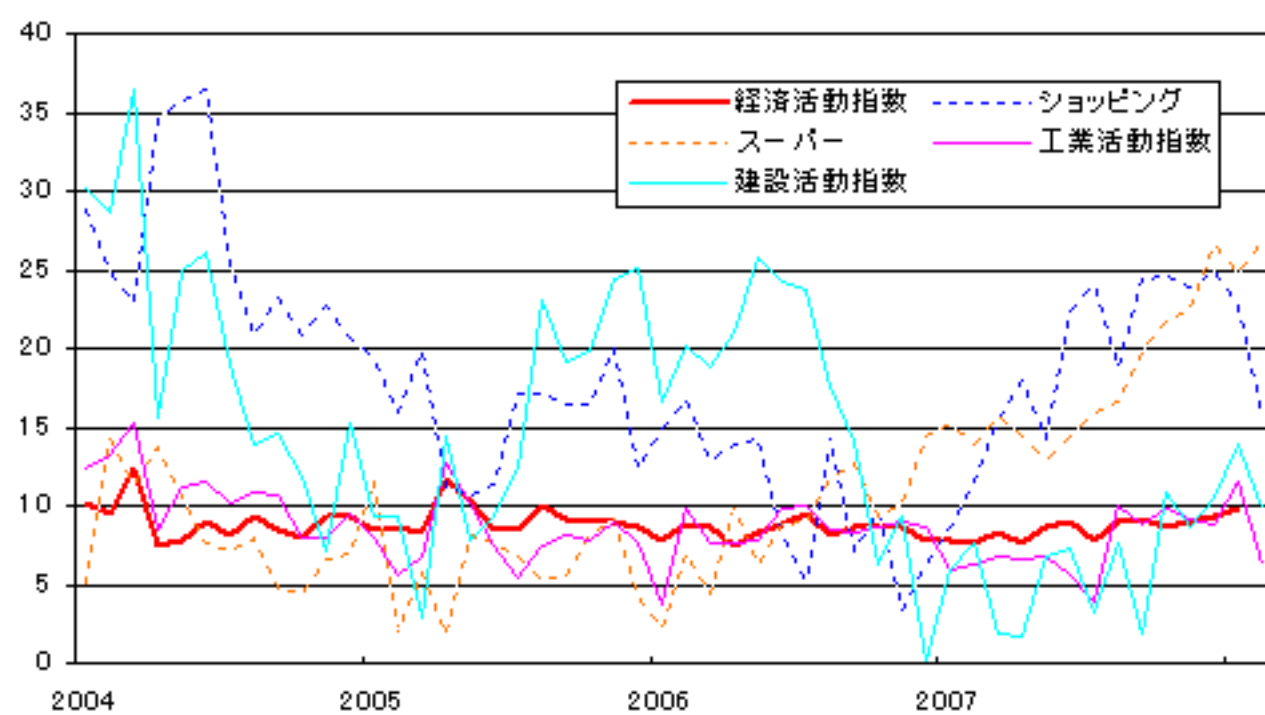
### (3) 工業生産・建設活動

	工業生産指数						稼働率	建設活動指数		自動車生産台数		
	前期比 %	前年比 %	飲食料品 前年比 %	石油精製 前年比 %	化学 前年比 %	基礎金属 前年比 %		金属機械 前年比 %	前期比 %	前年比 %	前期比 %	前年比 %
05年		8.0	6.8	▲ 0.0	6.2	4.5	7.4		14.4		22.8	
06年		8.3	8.0	6.2	6.8	1.8	5.4		15.7		35.1	
07年		7.5	4.3	5.1	6.8	▲ 1.7	9.5		6.4		26.0	
07年 2月	4.0	7.1	5.4	4.8	10.9	▲ 5.7	8.7	73.8	4.6	7.5	108.1	21.3
3月	0.4	7.1	2.0	8.6	10.0	▲ 5.0	10.4	73.0	▲ 5.1	1.8	26.5	26.7
4月	0.5	6.8	4.3	4.4	9.2	▲ 0.8	4.9	73.7	4.0	1.7	▲ 7.5	23.9
5月	0.8	6.9	2.9	5.0	6.8	▲ 8.4	4.4	72.3	6.9	6.8	9.2	42.9
6月	▲ 0.1	5.3	1.7	6.4	▲ 2.1	▲ 7.7	5.0	72.8	1.0	7.2	4.9	32.7
7月	▲ 2.8	2.8	▲ 0.2	10.2	▲ 3.3	▲ 22.5	8.8	69.3	▲ 1.9	3.2	▲ 7.6	16.5
8月	7.0	10.0	2.9	1.7	5.1	4.6	19.5	75.7	2.4	7.6	21.8	29.1
9月	▲ 0.2	8.7	5.1	13.7	10.4	▲ 0.2	15.1	78.3	▲ 4.9	1.9	▲ 6.8	12.7
10月	1.0	9.7	5.3	9.1	6.0	3.1	8.4	77.4	3.7	10.8	10.8	30.5
11月	1.1	9.6	7.6	▲ 1.0	5.7	18.2	14.3	79.3	2.3	8.7	7.5	22.8
12月	0.2	9.3	7.8	▲ 1.8	3.6	26.3	10.1	74.5	▲ 1.7	10.5	14.7	27.6
08年 1月	▲ 0.1	12.2	5.6	3.1	3.0	26.6	3.4	70.5	2.7	13.9	▲ 18.6	141.7
2月	▲ 1.9	5.9	9.3	▲ 0.6	9.5	10.2	3.4	72.7	0.6	9.6	▲ 18.4	▲ 5.2
3月											47.4	10.5

工業生産指数・建設活動指数・稼働率の推移



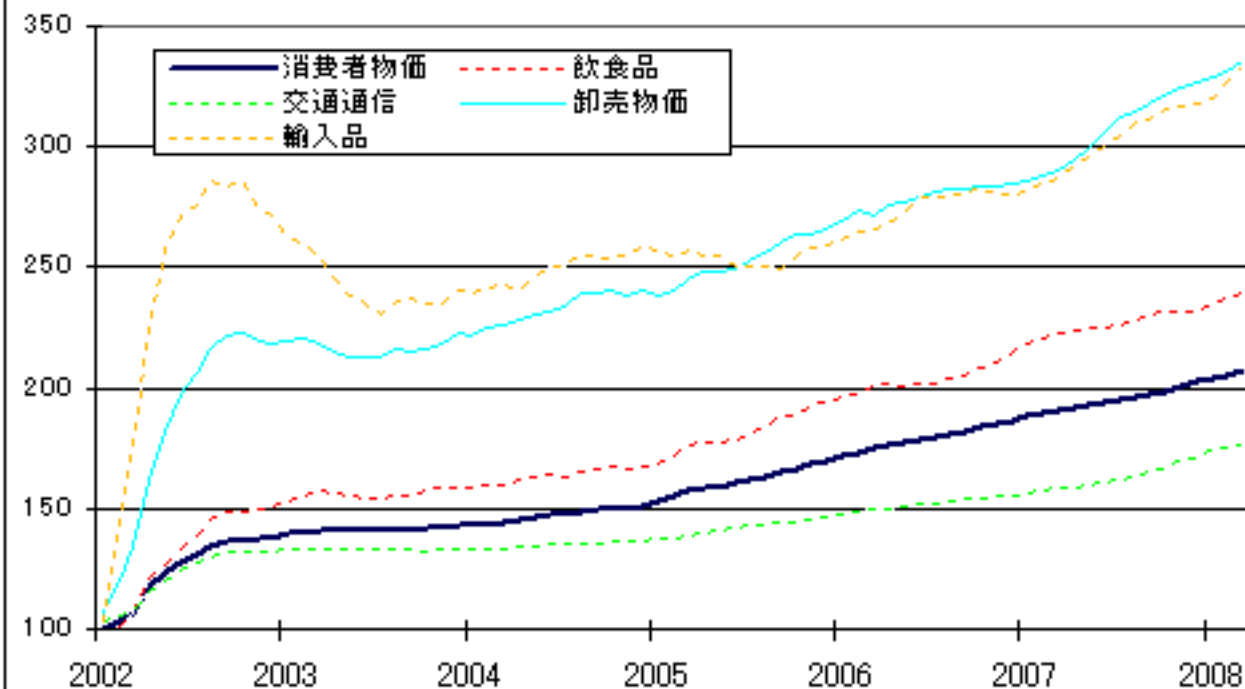
経済活動・消費・生産指数の推移(対前年比)



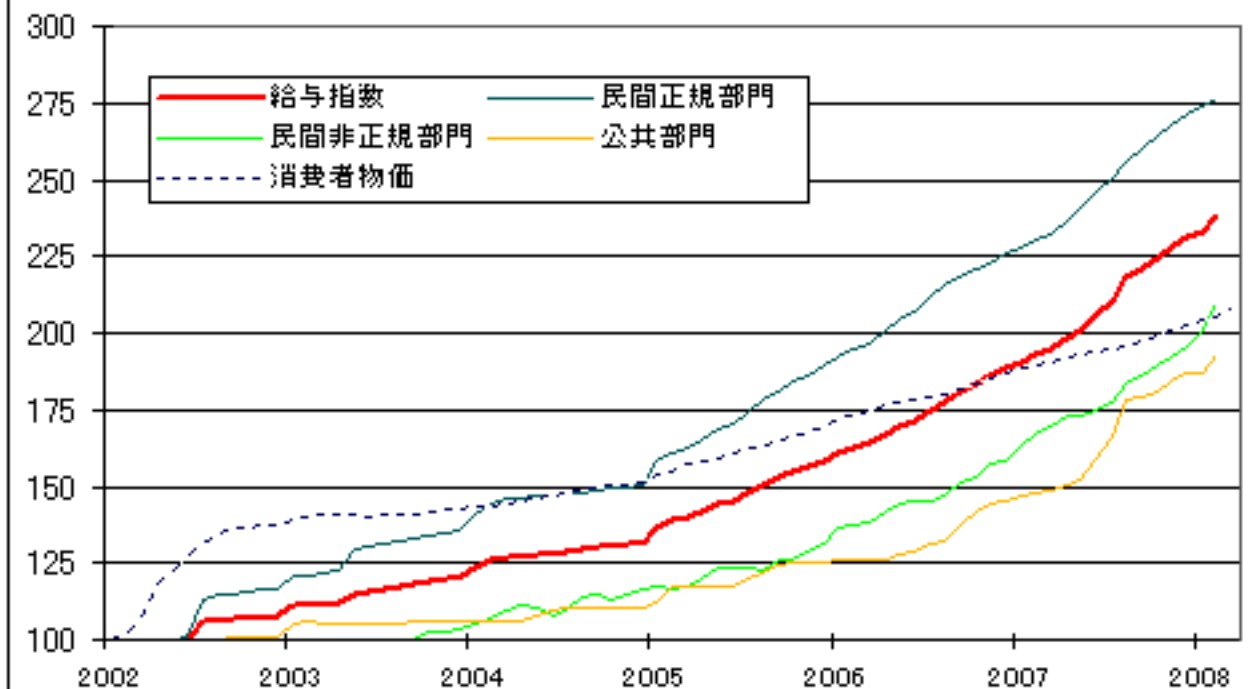
## (4) 物価・賃金

	消費者物価指数				卸売物価指数				給与指数			
			飲食品	交通通信			輸入卸売物価指数				民間正規	民間非正規
	前期比%	前年比%	前期比%	前期比%	前期比%	前年比%	前期比%	前年比%	前期比%	前年比%	前月比%	前月比%
05年		12.3				10.7		7.1		20.31		
06年		9.8				7.1		8.1		18.90		
07年		8.5				14.4		21.4		22.66		
07年 2月	0.3	9.6	0.7	0.4	0.8	5.2	0.9	7.2	1.18	18.71	0.89	2.59
3月	0.8	9.1	1.1	0.5	0.6	6.5	0.7	7.9	1.00	18.89	0.96	1.34
4月	0.7	8.9	0.7	0.4	1.7	6.9	1.9	9.0	1.54	18.79	1.62	1.89
5月	0.4	8.8	0.1	0.6	1.6	8.2	1.3	8.6	1.39	18.62	1.84	0.25
6月	0.4	8.8	0.2	0.5	1.9	9.4	1.4	7.6	2.54	20.16	2.25	0.76
7月	0.5	8.6	0.4	1.1	2.1	10.9	1.0	8.4	2.27	20.61	1.89	1.40
8月	0.6	8.7	1.2	0.7	0.6	11.1	1.8	10.9	3.43	23.04	1.90	2.94
9月	0.8	8.6	0.7	1.0	0.9	12.5	0.4	10.6	1.34	22.28	1.72	1.49
10月	0.7	8.4	0.5	1.0	0.9	13.2	1.5	11.9	1.72	22.18	1.84	1.87
11月	0.9	8.5	0.1	2.7	0.9	14.1	0.2	13.0	1.43	22.24	1.23	1.64
12月	0.9	8.5	0.4	0.7	0.5	14.4	0.0	13.2	1.38	22.66	1.33	1.76
08年 1月	0.9	8.2	0.7	1.9	0.7	15.0	0.8	13.6	0.99	22.30	0.98	2.47
2月	0.5	8.4	1.1	▲ 0.3	0.8	15.1	1.9	14.8	2.02	23.31	0.89	4.27
3月	1.1	8.8	1.1	0.7	0.9	15.5	1.3	16.2				

物価指数の推移



給与指数の推移

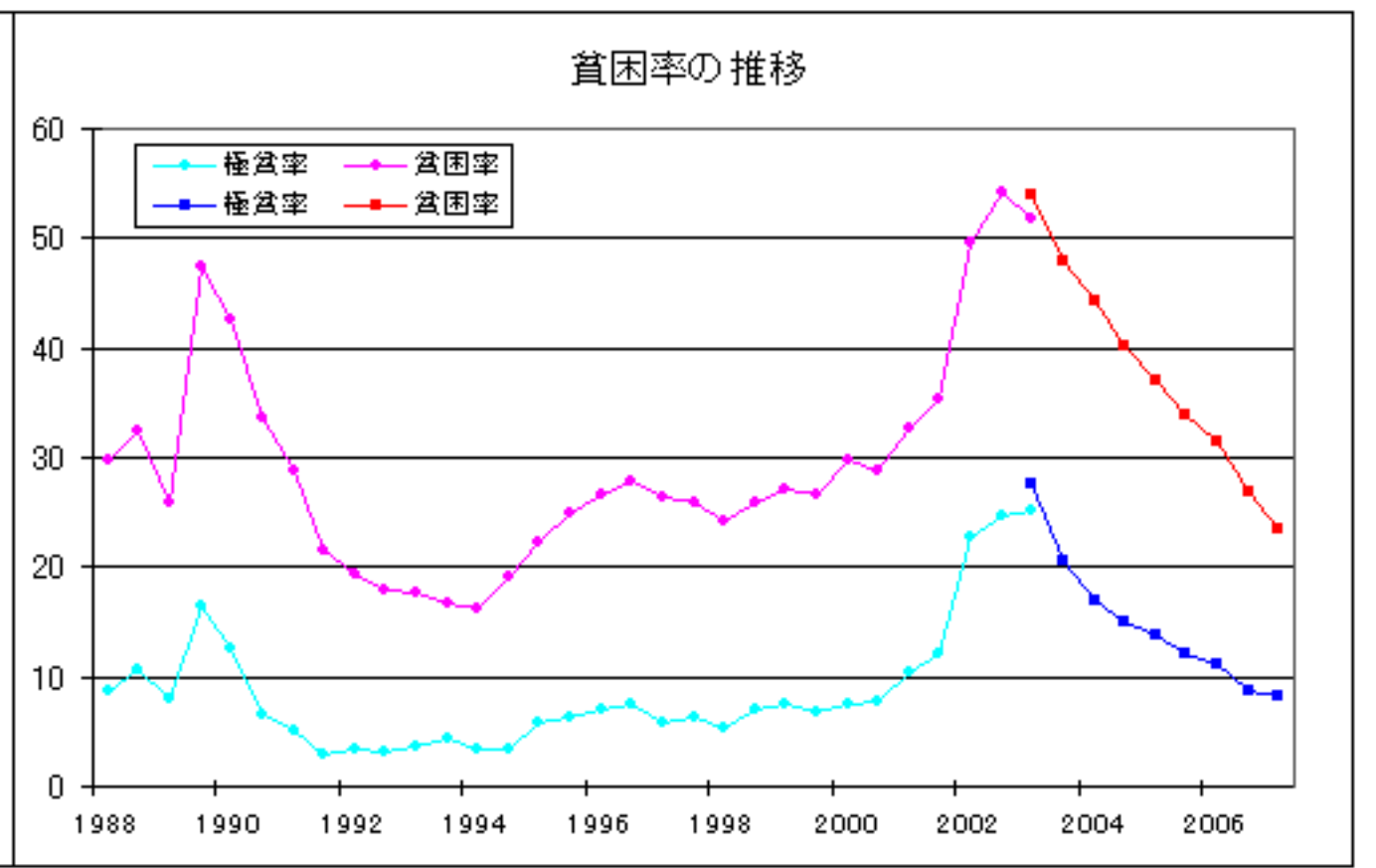
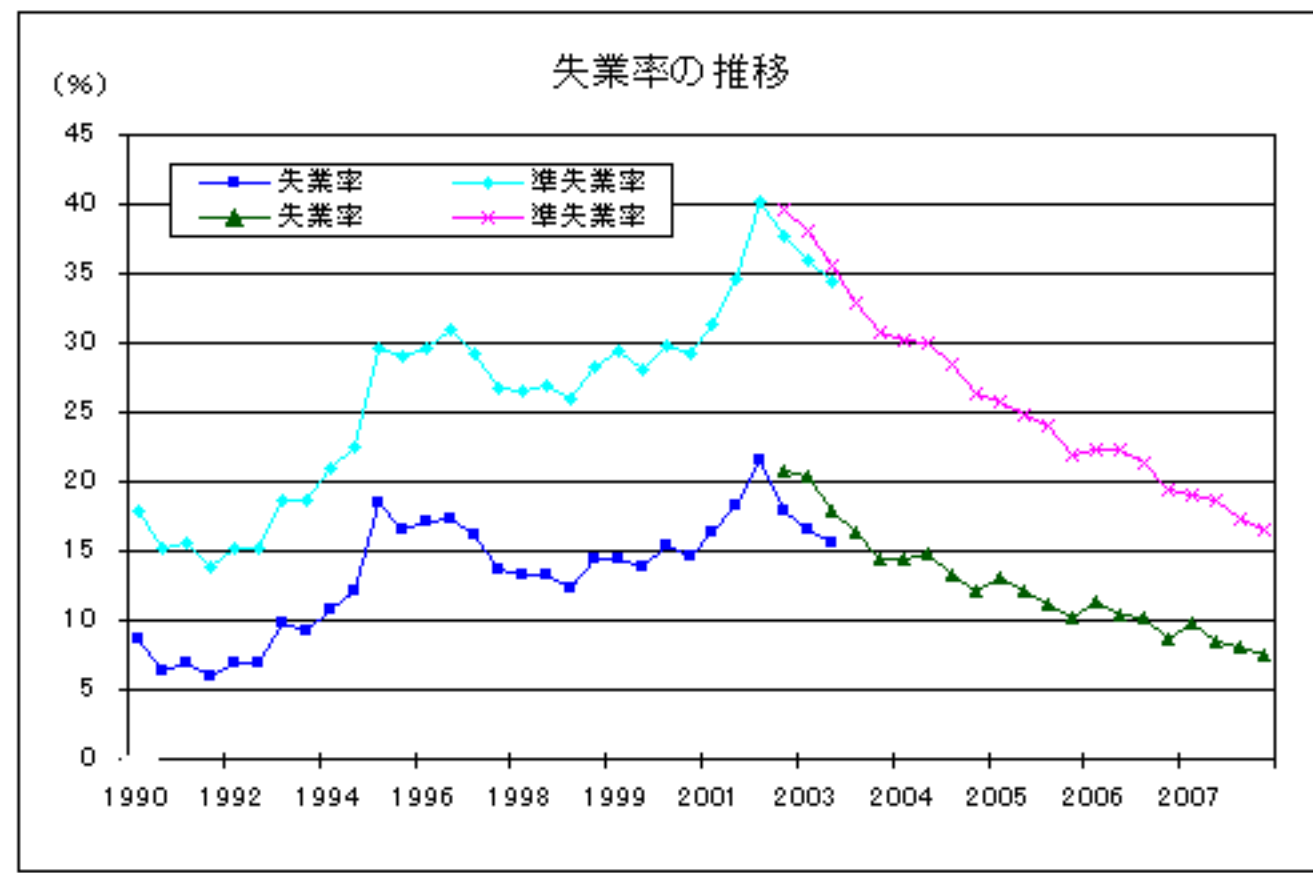


(5) 失業・貧困

	失業率	準失業率
	%	%
04年 1-3月期	14.4	15.7
4-6月期	14.8	15.2
7-9月期	13.2	15.2
10-12月期	12.1	14.3
05年 1-3月期	13.0	12.7
4-6月期	12.1	12.8
7-9月期	11.1	13.0
10-12月期	10.1	11.9
06年 1-3月期	11.4	11.0
4-6月期	10.4	12.0
7-9月期	10.2	11.1
10-12月期	8.7	10.8
07年 1-3月期	9.8	9.3
4-6月期	8.5	10.2
7-9月期	8.1	9.3
10-12月期	7.5	9.1

	極貧率	貧困率
	%	%
00年 5月	7.5	29.7
00年10月	7.7	28.9
01年 5月	10.3	32.7
01年10月	12.2	35.4
02年 5月	22.7	49.7
02年10月	24.7	54.3
03年 5月	25.2	51.7
03年上期	27.7	54.0
03年下期	20.5	47.8
04年上期	17.0	44.3
04年下期	15.0	40.2
05年上期	13.8	36.9
05年下期	12.2	33.8
06年上期	11.2	31.4
06年下期	8.7	26.9
07年上期	8.2	23.4

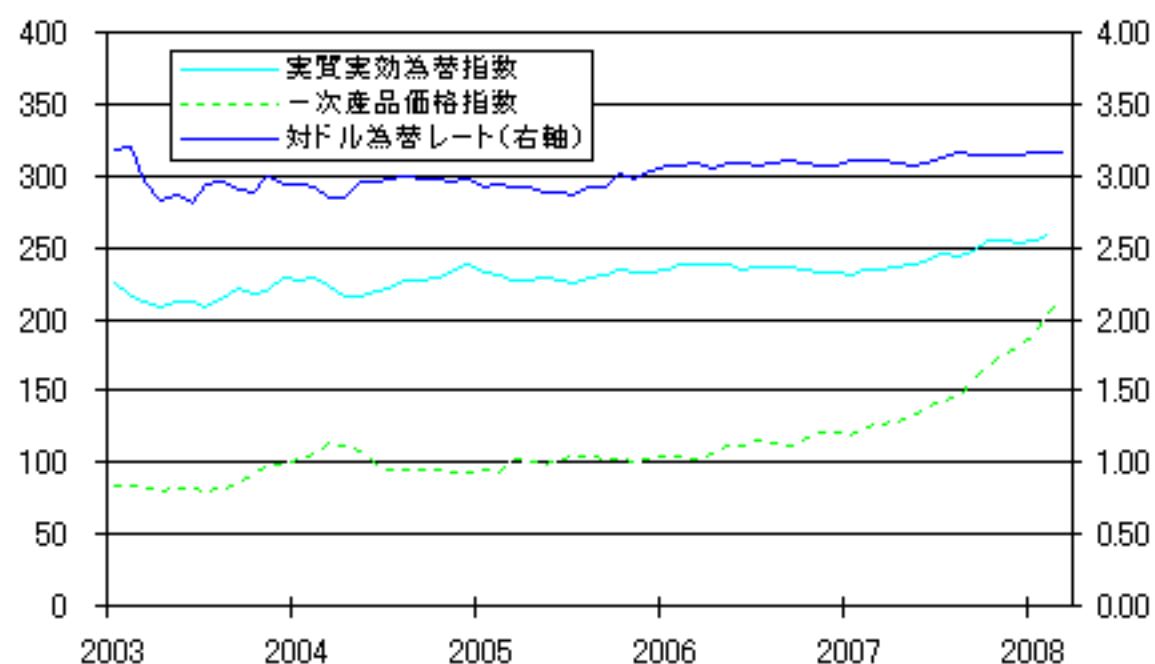
		極貧水準	貧困水準
		ペソ	ペソ
05年		384.98	831.55
06年		414.49	899.44
07年		442.18	955.12
07年	3月	427.81	915.51
	4月	428.23	916.40
	5月	428.23	920.69
	6月	429.52	923.47
	7月	432.52	929.93
	8月	442.03	945.95
	9月	445.00	952.30
	10月	447.39	961.88
	11月	441.35	948.90
	12月	442.18	955.12
08年	1月	445.62	967.20
	2月	449.59	970.86
	3月	455.57	982.38



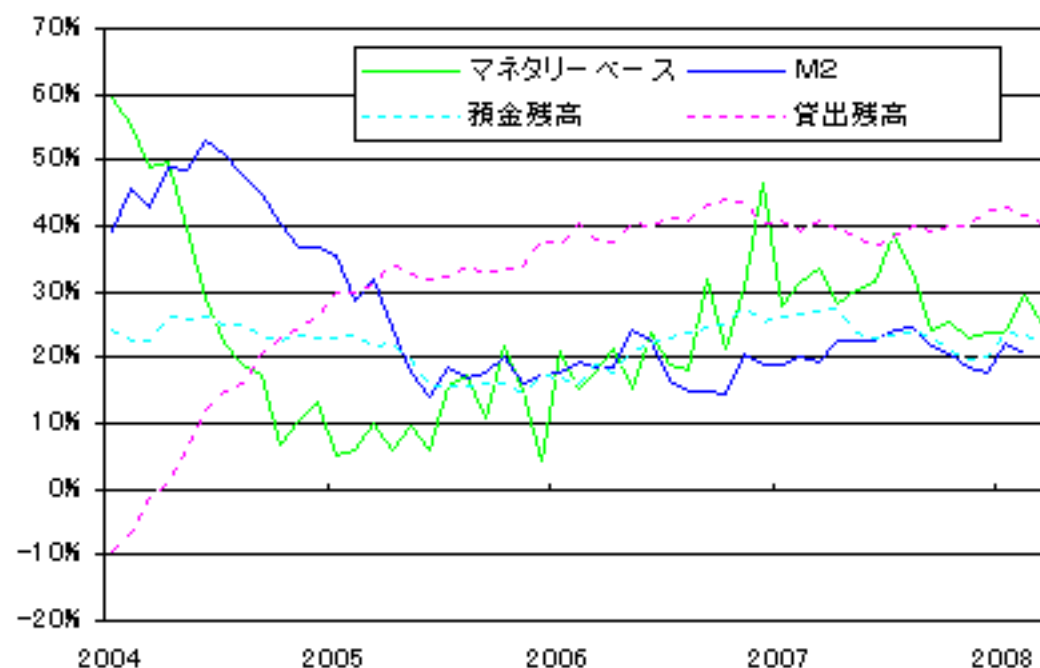
## (6) 金融

	メルハル 指数	カントリー リスク	為替	外貨準備	マネタリー ベース	預金残高	貸出残高	コールレート ( $\%$ 翌日)	プライムレート ( $\%$ 30日)	
			ペソ	百万ドル	百万ペソ	百万ペソ	百万ペソ	%	%	
05年末	1543.31	504	3.0315	28.076	54.710	134.917	53.647	6.81	7.11	
06年末	2090.46	217	3.0695	32.037	80.066	169.586	75.293	8.19	9.03	
07年末	2151.73	410	3.1510	46.176	98.979	203.875	107.149	9.50	16.30	
07年	3月末	2102.78	205	3.1007	36.849	78.797	80.343	7.06	8.72	
	4月末	2154.55	272	3.0898	38.606	77.733	82.016	6.94	8.54	
	5月末	2243.03	277	3.0785	40.581	78.517	84.299	7.56	8.62	
	6月末	2190.87	325	3.0908	43.157	83.675	86.645	7.81	8.65	
	7月末	2180.25	449	3.1195	44.202	89.691	90.054	12.38	9.88	
	8月末	2062.08	450	3.1558	43.160	87.451	94.039	10.19	10.15	
	9月末	2189.97	398	3.1495	42.891	86.218	96.601	8.19	14.69	
	10月末	2351.44	312	3.1477	43.000	85.147	100.747	8.63	15.59	
	11月末	2207.16	401	3.1442	44.860	89.767	103.737	8.38	15.71	
	12月末	2151.73	410	3.1510	46.176	98.979	107.149	9.50	16.30	
	08年	1月末	2007.27	480	3.1557	47.660	94.466	110.016	8.06	13.47
		2月末	2162.20	501	3.1587	49.261	97.513	111.214	8.06	11.67
3月末		2103.73	581	3.1653	50.464	98.437	112.821	8.06	11.40	

為替レートの推移



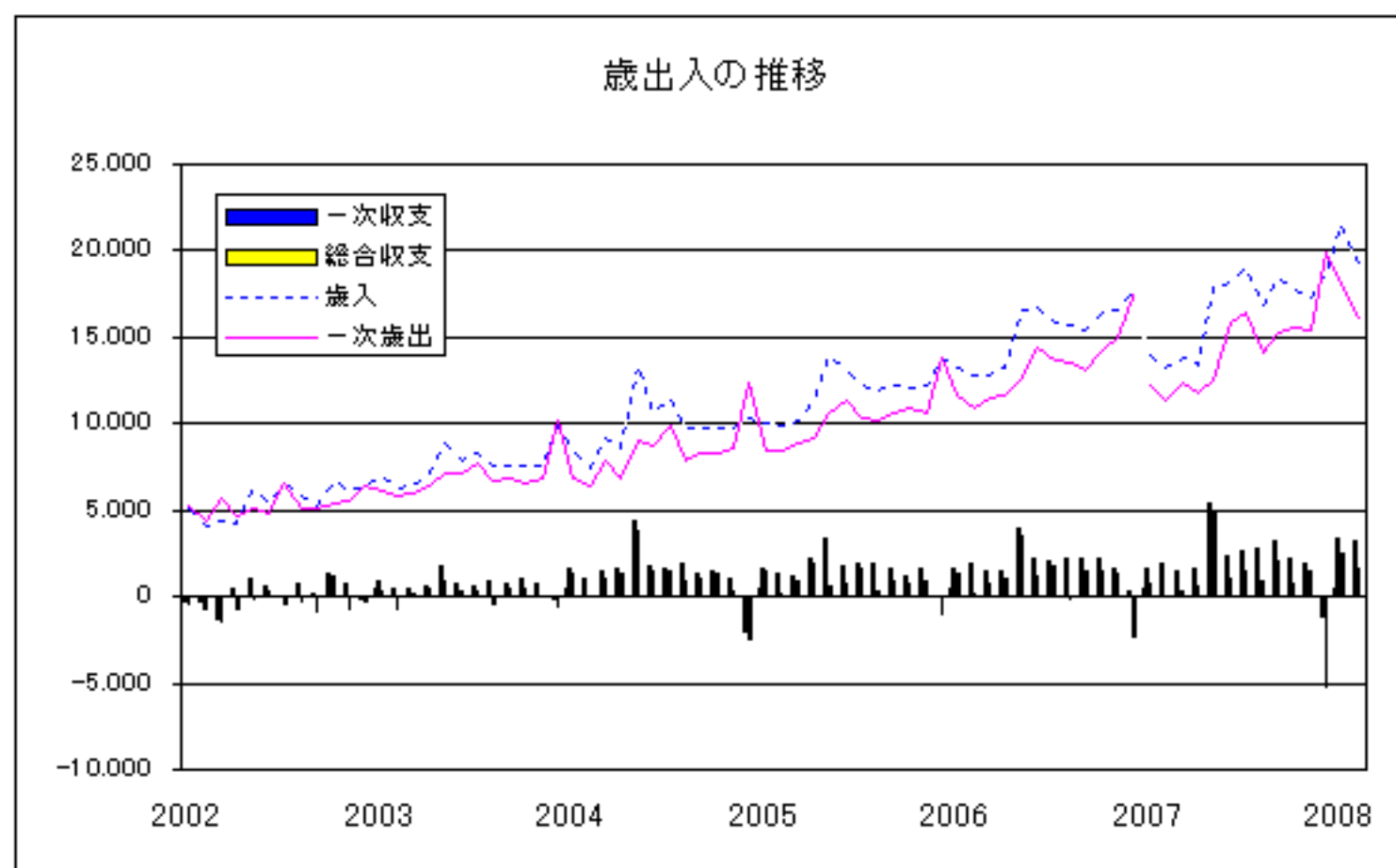
金融指標の推移(対前年比)



# (7) 財政

	歳入		一次歳出		一次収支		総合収支	税収	
	百万円	前年比 %	百万円	前年比 %	百万円	前年比 %	百万円	百万円	前年比 %
05年	142,996	20.7	123,335	22.0	19,661	13.3	9,418	119,252	21.3
06年	183,128	28.1	159,963	30.0	23,165	17.8	11,623	150,009	25.8
07年	198,711	37.3	172,992	42.3	25,719	11.0	9,296	199,781	33.2
07年 2月	13,296	31.0	11,328	37.4	1,968	3.3	87	13,356	27.4
3月	13,859	34.5	12,373	39.0	1,486	5.8	296	13,944	33.6
4月	13,365	22.7	11,748	25.5	1,617	5.5	637	13,279	32.6
5月	17,876	42.4	12,521	44.8	5,355	37.1	4,967	18,875	31.5
6月	18,102	43.7	15,800	52.3	2,303	2.6	1,101	18,037	30.4
7月	19,081	50.6	16,504	56.0	2,577	23.4	1,521	17,470	37.7
8月	16,841	35.2	14,123	37.8	2,718	23.1	892	17,874	37.4
9月	18,505	50.1	15,327	54.0	3,178	43.6	2,063	16,735	31.2
10月	17,720	36.5	15,552	43.5	2,168	1.2	683	17,651	32.1
11月	17,364	32.1	15,452	34.3	1,912	16.6	1,525	18,406	33.5
12月	18,788	30.7	19,987	41.8	▲ 1,199	-	▲ 5,241	19,621	39.0
08年 1月	21,555	54.8	18,166	47.9	3,389	107.2	2,418	21,729	49.5
2月	19,214	44.5	16,035	41.6	3,179	61.5	1,550	19,604	46.8
3月								17,689	26.9

	債務残高	
	百万円	対GDP比 %
03年末	178,821	138.7
04年末	191,296	127.3
05年末	128,630	73.9
06年末	136,725	64.0
07年末	144,729	56.1
05年 6月末	126,466	
9月末	125,406	
12月末	128,630	
06年 3月末	127,938	
6月末	130,650	
9月末	129,604	
12月末	136,725	
07年 3月末	136,348	
6月末	138,315	
9月末	137,114	
12月末	144,729	

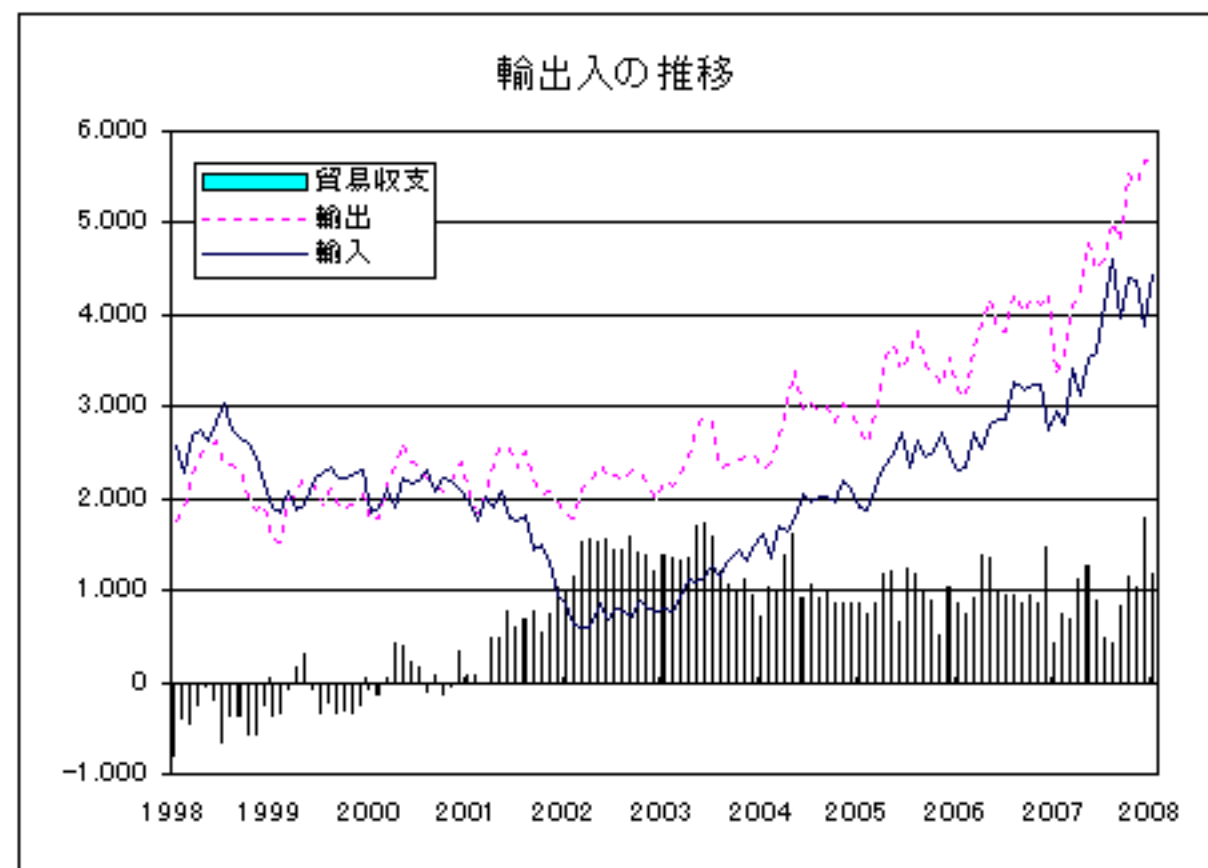




## (8) 貿易

	輸出		輸入		貿易収支
	百万ドル	前年比 %	百万ドル	前年比 %	百万ドル
05年	40.352	16	28.689	28	11.663
06年	46.456	15	34.151	19	12.306
07年	55.933	20	44.780	31	11.154
07年 2月	3.531	15	2.791	20	740
3月	4.112	13	3.418	26	694
4月	4.261	9	3.139	23	1.122
5月	4.794	15	3.542	25	1.253
6月	4.480	17	3.580	25	901
7月	4.603	21	4.124	45	479
8月	5.023	18	4.607	40	416
9月	4.802	19	3.963	25	839
10月	5.539	32	4.401	35	1.139
11月	5.422	32	4.384	35	1.039
12月	5.668	34	3.882	41	1.786
08年 1月	5.639	67	4.475	52	1.164
2月	5.189	45	4.207	51	982

	地域別輸出(百万ドル)					
	汎コースル	チリ	NAFTA	EU	中国	日本
05年	7.706	4.500	6.032	6.847	3.336	303
06年	9.907	4.390	6.026	8.172	3.676	405
07年	12.483	4.185	6.132	9.895	5.380	687
07年 2月	875	307	461	602	156	41
3月	991	311	533	651	352	50
4月	909	351	324	762	492	39
5月	982	369	455	824	564	53
6月	953	277	365	783	498	75
7月	1.025	259	480	805	405	96
8月	1.092	297	541	876	519	47
9月	1.047	327	453	827	592	83
10月	1.238	363	588	975	741	51
11月	1.276	425	700	1.163	553	12
12月	1.303	538	613	942	430	57
08年 1月	1.389	373	530	1.004	375	34
2月	1.284	424	634	997	255	29



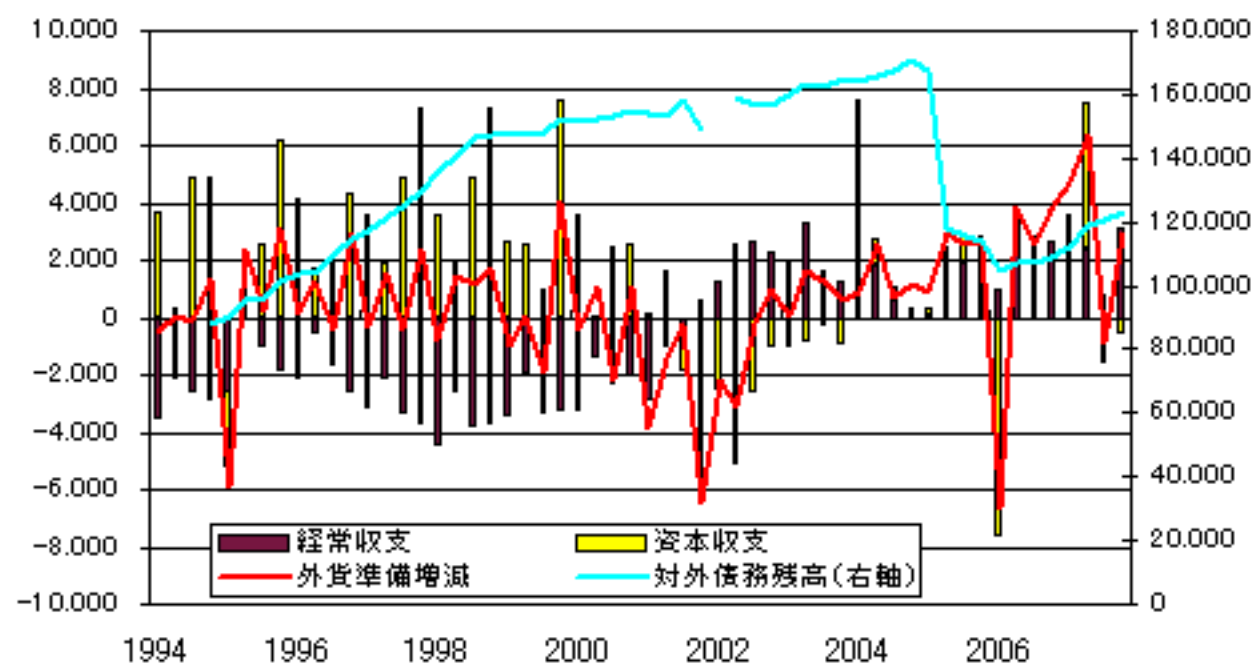
	地域別輸入(百万ドル)					
	汎コースル	チリ	NAFTA	EU	中国	日本
05年	11.020	549	5.000	4.833	2.271	789
06年	12.686	599	5.597	5.813	3.153	933
07年	16.175	708	6.981	7.452	5.127	1.279
07年 2月	1.077	43	462	481	289	69
3月	1.313	54	547	607	353	122
4月	1.150	47	516	526	291	178
5月	1.387	60	527	587	369	96
6月	1.274	49	567	548	408	84
7月	1.518	66	505	638	494	103
8月	1.517	68	738	701	478	115
9月	1.412	63	622	600	486	91
10月	1.553	74	649	783	572	120
11月	1.549	71	700	755	580	114
12月	1.414	59	659	656	477	100
08年 1月	1.595	73	846	715	546	110
2月	1.541	65	741	738	476	101

## (9) 国際収支

(百万ドル)

	経常収支			資本収支			直接投資	対外債務残高		
	貿易収支	サービス収支	所得収支	中央銀行	政府部門	民間部門				
03年	8.140	16.805	▲ 1.193	▲ 7.975	▲ 3.203	▲ 868	4.641	▲ 6.976	1.652	164.645
04年	3.213	13.265	▲ 1.441	▲ 9.282	8.454	▲ 1.990	11.853	▲ 1.409	4.125	171.205
05年	5.102	13.087	▲ 1.208	▲ 7.304	3.424	▲ 2.922	3.380	2.966	5.265	113.799
06年	7.691	13.872	▲ 798	▲ 5.872	▲ 5.564	▲ 10.400	3.132	1.704	5.037	108.762
07年	7.210	13.340	▲ 861	▲ 5.602	5.627	1.394	2.491	1.742	5.720	123.197
05年 4-6月期	1.693	3.496	▲ 469	▲ 1.469	782	▲ 990	▲ 38	1.810	2.268	118.245
7-9月期	1.912	3.836	▲ 304	▲ 1.738	1.063	▲ 775	1.016	822	676	115.848
10-12月期	1.409	2.982	▲ 83	▲ 1.632	1.387	▲ 52	1.116	323	1.044	113.799
06年 1-3月期	1.016	2.868	▲ 240	▲ 1.722	▲ 7.691	▲ 10.059	913	1.455	1.620	104.568
4-6月期	2.308	4.088	▲ 263	▲ 1.625	1.174	▲ 301	1.159	316	1.622	107.155
7-9月期	1.736	3.216	▲ 326	▲ 1.294	1.055	399	▲ 355	1.011	1.428	107.221
10-12月期	2.631	3.700	32	▲ 1.231	▲ 101	▲ 439	1.415	▲ 1.077	368	108.762
07年 1-3月期	951	2.397	▲ 25	▲ 1.511	2.656	205	799	1.652	1.009	112.077
4-6月期	2.336	3.908	▲ 304	▲ 1.357	5.154	▲ 282	991	4.445	987	118.836
7-9月期	765	2.425	▲ 470	▲ 1.268	▲ 1.610	829	▲ 94	▲ 2.345	1.823	120.212
10-12月期	3.158	4.610	▲ 61	▲ 1.466	▲ 573	642	795	▲ 2.010	1.902	123.197

国際収支の推移



直接投資の推移

